

Harmonic Revolution / The Wisdom of Nature

自分自身の意識革命 / 自分の叡智を發揮する

サウンドヒーリング協会 / The Society For Harmonic Science (英文名が変わりました) 2001年3月設立

自分自身に革命を起す3つの方法 — すべてを調和し喜びを創造する Harmonic Alignment

- 1. 自然音 空間を快適にする *Harmonic Ambience* — 心と体に自然のリズムを取り戻す
- 2. 体感音響 体内環境を整える *Harmonic Massage* — 体が喜ぶ細胞レベルのマッサージ
- 3. 呼吸と声 高次元の響きに共鳴する声 *Voice Prayer* — 見えない力への架け橋

自分を敬い、生命を尊び、自然に感謝

サウンドヒーリング協会 / The Society For Harmonic Science 2001年3月設立

【会長】中村泰治 *Yasuharu Nakamura* (昭和大学名誉教授、理学博士)【理事長】喜田 圭一郎 *Keiichiro Kita* (株式会社ジョイファンデーション代表取締役)

【理事】Stan Altman (Ph.D. Baruch College New York 元学長)

上野 圭一 *Keiichi Ueno* (翻訳家、日本ホリスティック医学協会副会長)河野 渡 *Wataru Kono* (河野デンタルクリニック院長、歯学博士)西條 一止 *Kazushi Nishijyo* (国立大学法人筑波技術大学 名誉教授、医学博士)

【アドバイザリーブレイン】(五十音順) Advisor

合田周平(電気通信大学名誉教授 工学博士)、有田秀穂(東邦大学名誉教授 医学博士)、池川明(池川クリニック産婦人科・内科 医学博士)、犬塚雄大((株)アールグラン・コーポレーション代表)、岩本耕太郎(内科医、帝国クリニック院長)、雄谷紀子(知的障害施設仏子園元園長)、大山政郎(耳鼻咽喉科、医療法人大山医院、医学博士)、岡見圭(株)ペットオフィス代表)、奥健夫(工学博士、意識情報研究所)、長田夏哉(田園調布長田整形外科院長)、長内博雄(武蔵野東教育センター所長、前武蔵野東中学校校長)、勝木道夫(勝木グループ代表、医学博士)、神山純一(作曲家、編曲家)、Mitchell Gaynor (M.D. P.C. Gaynor Integrative Oncology, NY)、Ronald L. Peters (MD.MPH Mind Body Medicine Center, AZ)、小松明(体感音響研究所主宰)、作左部 紀子(獣医師)、信田広晶(心療内科 しのだの森ホスピタル理事長)、下雅意巖(東洋メディアリンクス(株)元代表取締役会長)、杉本英夫(桐蔭横浜大学教授、医学博士)、橘秀樹(東京大学名誉教授、工学博士)、高橋全(作曲家、編曲家)、田畠晃(田畠眼科医院院長、工学士)、銅金祐司(東京藝術大学先端表現科 非常勤講師)、内藤平(弁護士)、中村鶴城(琵琶奏者)、Chikako Hoshino Powers (Academy of SMART Therapy)、松下裕子(ストレスケア研究会代表、医学博士)、間山真美子(和なごむ皮ふ科クリニック院長)、森千鶴(鍼灸師、キネシオロジスト、植物療法士)、矢部多加夫(やべ耳鼻咽喉科院長・医学博士)、山口宣夫(元金沢医科大学大学院教授・医学博士)、山本健一(サウンドクリエイター)、湯川れい子(作詞家、音楽評論家)

【賛同者】(五十音順) Advocate

Constantin Ailioiae (MD.PhD ルーマニア在住医師)、伊藤修(医学博士)、小川圭一(企画音楽プロデューサー)、大塚めぐみ(ウィーン国立音楽大学教鞭、ピアニスト)、Robert Callery (HB Playwrights Foundation Theater Managing Director)、Hiroki岸(音楽家)、龍村ゆかり(映画ガイアシンフォニープロデューサー)、Amy Tanaka (ハワイ島在住)、所れい(RHI Healing Harp Center代表)、Francois Du Bois (Composer)、中山一郎(理学博士)、日野原重明(医学博士)、水野圭一郎(工学博士)、三井石根(医学博士)、本山博(文学博士)、葉祥明(絵本作家)

協会誌 No.20&21合併号
2015年1月発行

編集発行 サウンドヒーリング協会
〒141-0021 東京都品川区上大崎2-9-4-201
tel : 03-3441-6796 fax : 03-3441-6929
URL : <http://www.sound-healing.jp>
e-mail : info@sound-healing.jp

表紙イラスト「春の風」葉祥明
レイアウトデザイン 犬塚 雄大

「地球に生きること、自然との共生」、その基本は、周囲のこと気に付く力。

45億5000万年前に地球の核が出来、水の惑星:地球の歴史が始まる、その地球に38億年前に生命が誕生している。水は、摂氏0度から100度という限定された温度環境で水です。0度以下では氷、100度以上では水蒸気です。地球は水の状態を維持出来るという条件に恵まれた極めてまれな温度環境惑星です。そして今日、地球上には多くの生命が生き続けています。これは、地球環境が、生命を育む力を持っている証拠です。人の手ではなく、自然の中で多くの生命が育てられています。地球は、各地域で様々な自然環境を持っています。その中で適応出来る生き物だけが各地で生息しています。しかしながら中で人類だけが地球上のあらゆるところで生活しています。人類のみです。それは、人類が知恵で人工的に環境条件に適応する力を工夫出来たからです。

人類の知恵は、科学技術の進歩により、私たちが快適に過ごしやすい生活環境を獲得してきました。しかしそれは多くのところで人間のみが住みやすい環境づくりになっています。多くの野生生物が絶滅に追いやられようとしています。自然との共生を多くは無視し、特に大都会では人間の住む地域そのもので、自然が失われています。自然との共生が出来る人間の住む環境とは、を根底から考えなければなりません。

高度に発展してきた、人間の生活を維持するには再生可能な自然エネルギーだけでは不可能である、したがて、原子力発電は不可欠だといいますが、その選択は地球上に住む生き物として正しいでしょうか。核分裂反応は、地球上の自然環境の中では存在しない現象です。別世界のことなのです。したがって、福島原発事故は、地震、津波という事故を起こした原因は去ったけれども、地球の自然環境にはない大量の放射性物質という後遺症は解決が極めて困難です。

「地球の自然をまもる」は、宇宙創造の神の意志です。自然災害などでは神に祈ってきました。東京国立博物館の日本国宝展に、土偶が展示されました。土偶は、人形(ひとがた)をした素焼きの土製品で、縄文時代を通じて作られた祈りの道具と言われます。縄文(中期) 前3,000～前2,000年の「縄文のビーナス」、「縄文の女神」、縄文(後期) 前2,000～前1,000年の「合掌土偶」などが展示されていました。

サウンドヒーリングの自然音は、都会では得にくい、屋久島、白神山地の透明感高い清らかな小川のせせらぎ、宮古島の波のささやき、清らかに語りかける小鳥のさえずりなどが日常生活の中で忘れている自然を気づかせてくれます。

自然を身近に感じ、「祈りの心」を日常生活に持ちたいものです。



Listen to Good Vibration
Feel Good Vibration &
Give Good Vibration
For Peaceful Joy of Life

サウンドヒーリング協会 理事
医学博士、国立大学法人筑波技術大学 名誉教授
西條 一止

